

5年生25人横手でPR 大雄小労作のコメ販売

横手市の大雄小学校の5年生25人が市生涯学習館Ao—na（あお—な）で、自分たちが栽培したコメの販売体験を行った。心を込めて育てた自信作が売れていくと、満足そうな表情を浮かべた。

5年生は、総合的な学習の時間にコメ作りに取り組んでいる。収穫したコメは、昨年までPTAなどの機会に大雄地域で売っていたが、今年はより広く地元のコメの良さを知ってもらいたいと、市中心部で14日にPR販売した。

開始式では、児童が栽培体験を振り返り「慣れない姿勢での作業が大変だった」「慣れない姿勢での作業が大変だった」「気候条件や病気に気を配りながら収穫までこぎ着ける農家はすごい」「最近の農業機械により作業負担が減って良かった」などと発表した。

コメ90キロ分を300グラム、1キロ、2キロ入りの紙袋に分けて並べ、それぞれ200円、500円、千円で販売。児童は通行人に「私たちが育てたおいしいコメを買ってください」とアピールした。

大沼蓮太さんは「販売の経験がなく緊張したが、徐々に慣れた。自分たちが苦労して植え、収穫したコメを買ってもらい、うれしい気持ちになった」と話した。（藤田向）（令和7年2月25日（火）秋田魁新聞より一部抜粋）

